

事業名称：新温泉町 de 謎解きまち歩き

団体名：芸術文化観光専門職大学アートマネジメントサークル

## 1 事業内容

事業の名称 新温泉町 de 謎解きまち歩き

期間 2025年7月16日(木)～2026年2月26日(木)

【イベント実施日】2026年1月23日(金)～2026年2月25日(木)

場所 新温泉町の町なか

内容

まち歩き型のイベント。謎解き冊子を購入し、街の中にある建造物を見ながら謎を解いてゴールを目指す。

### 【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
7月16日	Web サイト作成(試作)・チラシ作成開始	芸術文化観光専門職大学	1
7月23日	ルート確認	新温泉町	2
7月28日	チラシ完成・入稿	芸術文化観光専門職大学	3
8月2日	謎解きデザイン作成開始	芸術文化観光専門職大学	1
9月30日	謎解きデザイン作成終了	芸術文化観光専門職大学	1
10月1日	Web サイト作成(試作)	芸術文化観光専門職大学	1
10月3日	冊子作成開始	芸術文化観光専門職大学	2
12月1日	Web サイト作成(試作)	芸術文化観光専門職大学	1
12月20日	MTG・Web サイト作成(試作)	芸術文化観光専門職大学	4
1月21日	冊子入稿 Web サイト完成	芸術文化観光専門職大学	1
1月23日	イベント開始	新温泉町	3
1月23～2月25日	サイト保守	芸術文化観光専門職大学	1
2月25日	イベント終了	新温泉町	3
2月26日	事業振り返り	芸術文化観光専門職大学	3

## 2 事業の効果

### (1) 団体（組織）内の効果

謎解き制作、ルート設計、チラシデザイン、そしてAIを活用したWebサイト構築まで、一つのプロジェクトを最初から最後まで完結させることで、アートマネジメントの実践力を養うことができた。また、Webサイト制作における予算面や技術面の制約に対し、AIによるプログラミング導入など代替案を模索し、運用まで漕ぎ着けた経験は、今後の団体活動における大きな糧となった。他にも、5段階評価で平均4.2という高評価を得たことで、自分たちの企画が「観光客の隙間時間」という潜在的なニーズに合致していることを確認でき、自信に繋がった。

### (2) 地域への波及

アンケートの「隙間時間にちょうど良かった」「温泉街を楽しく歩けた」という声から、旅館滞在中の新たなアクティビティとして機能し、温泉街の回遊性向上に寄与した。また、新温泉町に何度も来ている方からも「知らなかった歴史や場所を知ることができた」との回答を得られた。謎解きを通して、既

存の観光資源に新たなストーリーを付与し、地域の魅力を深掘りして伝えることができた。その上、アンケート回答者の全員が再訪意欲に「4」以上を付けており、単なる一過性のイベントではなく、新温泉町という場所自体のファンを増やすきっかけを作ることができた。

### 3 協働の相手方

- ・湯村温泉観光協会：実施場所の選定や告知面での連携。
- ・町内の事業者（旅館や飲食店等）：観光客への案内やアクティビティ不足の課題共有。
- ・地域住民：謎解きルート上の建造物や歴史情報の提供協力。

### 4 今後の課題等

#### (1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

アンケートで指摘された「Webサイトのエラー」は、体験価値を損なう大きな要因となる。AIによるコード生成をベースにしつつも、動作確認体制を強化し、予算をかけずに安定したシステムを構築するノウハウを団体内でマニュアル化するべきである。また、今回の制作過程（一ヶ月の試作と運営の反復）を構造化し、後輩へ引き継げる形にすることで、単発に終わらせない継続的なプロジェクト運営を目指す。

#### (2) 地域活動を拡大していくための工夫等

「場所や方向の分かりにくさ」「詳細地図の必要性」という声に対し、看板の設置やUXデザインの視点を取り入れた冊子レイアウトへの改良を行うべきだと考えている。特に雪国特有の気象条件（降雪時の歩きにくさ）を想定したルート案内を検討したい。また、「意味が分かりにくい問題があった」という意見を真摯に受け止め、観光ガイドの役割を補完しつつ、誰もが楽しめる「ユニバーサルな謎解き」へとクオリティを底上げする。そして、今回は学生主導の制作が中心だったが、今後は地域の店舗や住民が「謎」の一部に登場するような、より地域に深く根ざしたコミュニティ型イベントへの発展を模索する。

#### 【2026/2/24の様子】

